



第13回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

自閉スペクトラム症から読み解く 社会性の神経基盤



演者: 臼井 紀好 先生

大阪大学大学院医学系研究科神経細胞生物学 准教授

日時: 2023年9月27日(水)16:20~17:20
葛飾キャンパス講義棟408教室

※他キャンパス向けにZoomでライブ配信いたします。



自閉スペクトラム症 (ASD)は社会性コミュニケーションの障がい、限定・反復された行動や興味、感覚過敏・感覚鈍麻を示す神経発達症である。遺伝要因と環境要因、またはその両方によって発症すると考えられているが、ASDの病態メカニズムについては未解明な部分が多い。我々はこれまでにモデルマウスを用いてASD原因遺伝子の機能解析を行い、脳の発生・発達、及び病態形成に与える影響を個体レベルで明らかにしてきた。また、近年は早期診断法の開発にも着手しており、末梢血を用いたメタボローム解析ではASD児における脂質代謝異常を見出してきた。基礎研究からトランスレーショナル研究まで様々なアプローチによってASD病態における生物学的メカニズムの理解と社会性の神経基盤の解明を目指しており、本セミナーでは基礎研究を中心に我々の最新の研究成果についても議論できればと考えている。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足した脳学際研究部門 (BIRD) をより発展させるために2021年度に設立された部門。学内の工・先進工・創域理工・薬学・生命研および学外の研究機関から構成される。

本講演は公開セミナーです。聴講希望の方は世話人までメールでご連絡ください。
ZoomミーティングID: 折り返しお伝え致します。

世話人: 先進工学部生命システム工学科 鈴木敢三 kanzo.suzuki@rs.tus.ac.jp

